

青森歯技 2010 Vol.2

(社)青森県歯科技工士会
 発行 長内 隆
 編集 小笠原賢
 石岡 繁



目次

- 刊頭所感
- 支部便り
- 学術・野球報告
- 理事会・活動
- 新日技会費内訳

特別付録

海外技工問題冊子/DVD

あっという間に冬の訪れ

今年も県技として3月の通常総会、5月の臨時総会と各理事会、それと生涯研修を基本・自由課程2回開催致しまして、会員の皆様を始め、各担当理事の皆様もいろいろご苦労様でした。各支部におかれましても、勉強会や市民健康祭りへの協力、友好団体との野球やボウリングなどの競技会、支部レクリエーション等々行事をこなされて準備作業など、本業の歯科技工のお仕事もあるほかに、多忙の中で大変だったことと思います。お疲れさまでした。

今年の夏は記録的な猛暑が長期間続き、寝苦しい夜が連日あったことが思い出されます。異常気象のおかげで隣の岩手県ではマツタケが大豊作とか。また、年金不正受給の発覚から端を発した所在不明の超高齢者が全国で見つかり、青森市で184歳の女性の戸籍が残っていたなどの笑えない話が相次ぎました。江戸時代後期だそうです。

今秋の野山の紅葉は何処もカレンダーからずれ込み、米の作柄、野菜、果実の甘味等に微妙に影響を与えたそうです。

政治では、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)に日本も加盟するかで苦慮しております。工業製品や農産品、金融サービスなど加盟国間で取引されるすべての貿易で2015年までに関税を100%撤廃しようというもので、国内の農業、漁業は壊滅的な打撃を受けるとして難題を含んでいます。加盟しなければ国際的に孤立してしまうと言う人もおりますが、日本の国益を考えて将来を見据えたきちんとしたビジョンを培っている国のリーダーが本当に居るのでしょうか、尖閣諸島の衝突映像は不思議にも事件当日に普通にTVニュースで放映されていました。隠すこともないし、国会で総理が何日も経ったのに「映像まだ見てません。」というのも問題ですね。

会長 長内 隆



支部便り 今年度も各地で開催 支部単位で協力しました。

[八戸支部]

特別養護老人ホーム

『サンシャイン』を訪問して



去る6月5日（土）特別養護老人ホーム『サンシャイン』にて、入所者とデイケアの方々の義歯の清掃と名前入れのボランティア活動に行ってきました。今年度より技工士会八戸支部長となったばかりで、準備の段階での戸惑いや、当日の不手際などいろいろありましたが、歯科医師会の先生方や歯科衛生士の皆さんの気遣いに助けられ、またホームの職員の指示のおかげで、無事



に終わることができました。

今回も名前入れ（11床）の名簿を事前に教えていただいていたので、とてもスムーズに作業ができました。作業中にNHKのカメラが回っているのに気づき、カメラを見たら「気にしないでそのまま続けてください」と言われかえって緊張しました。入所者やデイケアに来られている人たちの、義歯がきれいに使われているのが印象的でした。自分で清掃できる方はもちろんヘルパーの方に清掃していただいている方も、義歯に名前が入ることにより、義歯に愛着がわいたり取り違えがなくなるのではないのでしょうか。高齢化が進む現代、食事などで気持ちよく咬む事が一番のリハビリテーション（脳への刺激を与えることができる反復運動）ではないのでしょうか。歯科技工士はその義歯を作っているわけですから責任は重大です。義歯を作ることはもちろん、このボランティア活動に参加させていただくことも大事ではないかと思っています。八戸歯科医師会と古舘先生を中心とした先生方、受け入れくださったサンシャイン様に心から感謝申し上げます。またラピア会場には直接のお手伝いはできませんでしたが、今年も石膏のキャラクター模型を提供することができました。子供たちに喜んでいただけたものと思っています。 荒谷 玄 支部長

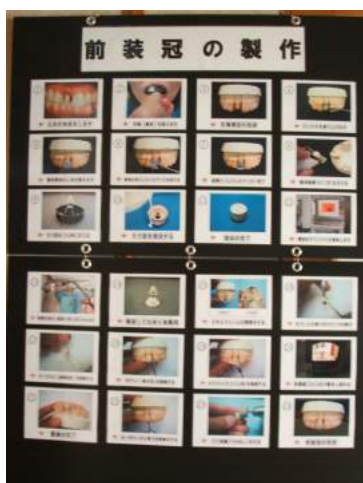
[青森支部]



歯の衛生週間に合わせて6月6日サンロード青森にて青森歯科医師会主催の虫歯予防キャンペーンにて子供の指の石膏模型などを製作プレゼントしました。



[弘前支部]



平成22年7月10・11日弘前総合保健センターで「市民の健康まつり」が開催されました。今年も弘前支部から対馬・船水・斎藤・竹浪・天坂・後藤の5名が参加しました。今回は長年使用したパネルを一新するため、健康まつり委員長船水を中心として協力しながら作成しました。、そして模型の展示石膏人形の無料配布と色付、指の印象を採り、ミニ義歯のストラップの製作もビーズを加えバージョンアップで好評でした、今年も本当に忙しい2日間でした！

今年も弘前歯科医師会様からは健康祭りのために御協力いただきありがとうございます。今年『株式会社松風』様から、超硬石膏18キロを寄付していただき、まことにありがとうございました！



県技よりお知らせ

弘前支部 健康祭り委員会では、ご覧の歯科技工展示用パネルを製作いたしました。一般市民の方に歯科技工の過程を目で見てもらうためのグラビアです。興味あり気に立ち止まって感心されている方が多く、歯科医の先生でも「ホホー!こうやって作っているんだー。」とびっくりされる風景も見られます。(ホント) 今後も機会あるごとに種類を増やしていけたらと思います。同じ形式で各支部で増やして頂けるように県技が予算を持ちます。各支部間で貸し借りできれば理想的です。今回の弘前支部さんご苦労様でした。今後ともよろしく願いいたします。 ♠ ♡ ♥ ♦ ♣

平成22年度 生涯研修 基本課程・自由課程

1. 【日技歯科技工所運営対策セミナー】

講師 岩澤 毅 氏 (秋田県技専務理事)

平成22年6月6日(日) 正午より 上記セミナーが開催されました。

本年4月1日の歯科診療報酬の改定に伴い、歯科技工関連の解説を全国的に展開して知識の普及に役立てようと、日技の方針決定によるものです。日技より日程を早く組んで欲しいと要請があり、いつもより早くこの時期に開催しました。

今回の改定では、歯科診療報酬本体は、2.09%引き上げられ、歯科技工関連では、有床義歯とその関連装置の評価が見直されるとともに、患者の生活の質に配慮した歯科医療を充実する観点から、歯科医療期間内に歯科技工士を配置その技能を活用している歯科医療機関の取り組みを評価するため、有床義歯に係わる新たな加算点数が設けられました。

このことは、患者の視点に立った歯科医療を実現させることを推進させるとともに、歯科医療保険制度内に歯科技工士の技能について言及し、診療報酬体系の中で評価するものとして大きな意味を成すものです。

健全な歯科技工所運営を行うことは、良質で安全な歯科医療を提供する上で不可欠であり、最も国民が求めていることです。このセミナーでは、診療報酬改定内容および歯科技工に関連する歯科診療報酬の内容、しくみなどを説明し、皆さんの歯科技工料金改定などへ向けた一助としていただけたら幸いです。

日技歯科技工所運営対策部部員

2. 【光重合型歯冠用硬質レジン】

「Luna-Wing」開発コンセプトの紹介 講師 末永 健 氏 (日技認定講師)

物性と特長および築盛デモンストレーション

同日後半は前装冠用硬質レジン材料を開発者の知見を交えて築盛デモとともに歯科理工学と実技指導が行われました。参加者が実際に築盛し、重合して形態修正まで行い、その製品にいろいろ質問を交えながらツボなどを教わっていました。これらの材料も各社研究開発にしのぎを削っており、Made in Japanが 国際的に高い評価を受けています。

本製品は「①生体安全性②造形が容易な操作性③耐用性に優れた物性」のコンセプトを基に開発を行いました光重合型歯冠用硬質レジンです。フィラーには「球形ナノフィラー」を採用し、無機フィラー充填率68wt%を達成し、操作性と物性、さらに審美性を兼ね備えた理想的な硬質レジンを実現しました。・メタルとの強固な接着のため、機械的維持層の塗布に適した専用オペークをラインナップ。このオペークは流動性が高く深い重合深度を兼ね備えているためアンダーカット細部まで容易に塗布でき、確実な重合が確保できます。・ボディ系レジンでは球形ナノフィラーを高充填した有機複合フィラーの組み合わせにより垂れにくく、造形しやすい操作性を持っています。・エナメルはデンティンよりも粘性を30%軟らかい設計とし築盛時の気泡混入抑制効果を持たせました。

山本貴金属地金KK 学術部学術課

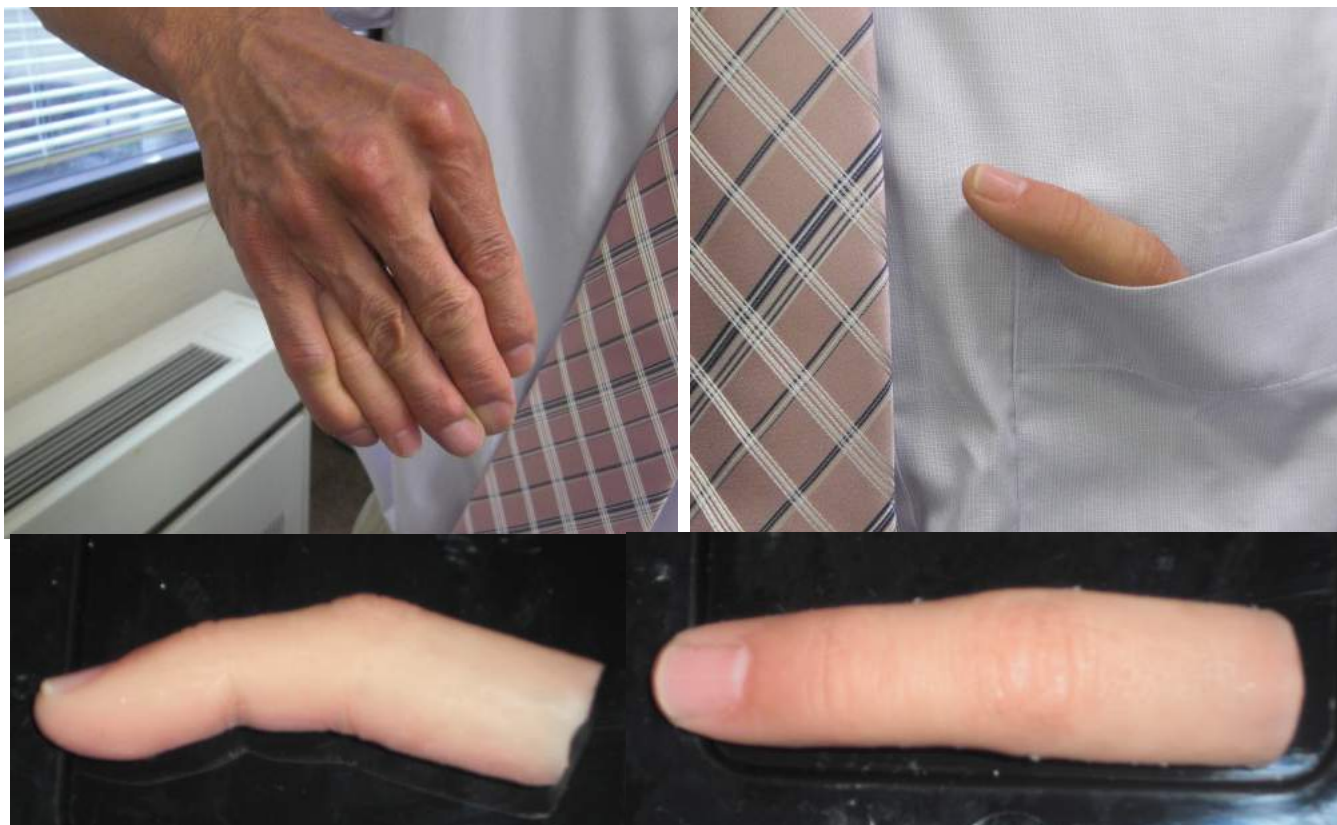
カラーグラビア 「初めてのエピテーゼ 診断から設計まで」

講師 森下祐司先生 日技認定講師 愛知医科大学病院歯科口腔外科 歯科技工士

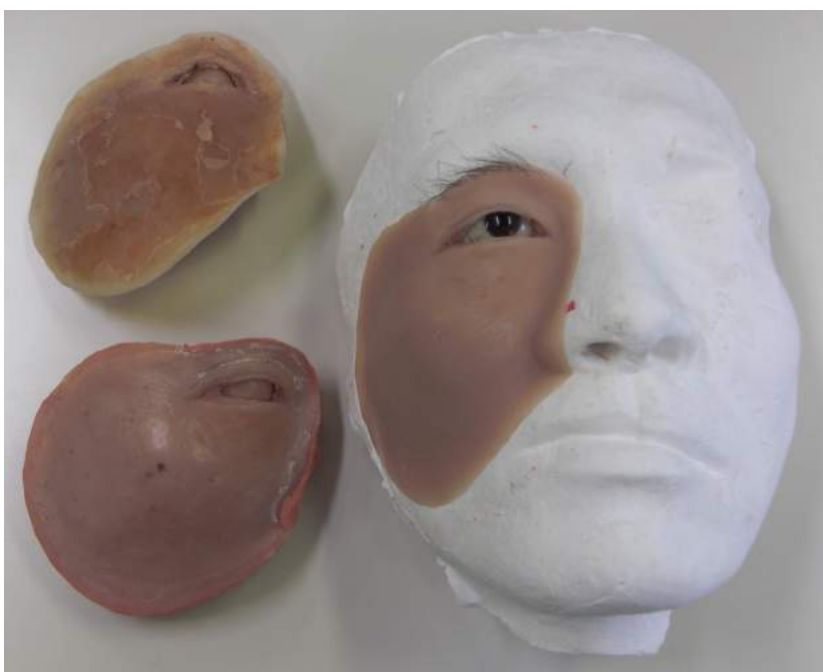
10月17日(日)県社会総合教育センターに於て、歯科技工士の仕事としては珍しい、歯科以外の補綴物の製作過程を教授していただいた。本務での病院技工の他に専門学校や大学で教鞭もとって居られる経験豊富なお人で、土日も無い程ご多忙の中を青森に来ていただきました。ここに当日のスナップを紹介します。







超リアルなシリコン指エピテーゼ 森下先生の豊富な症例経験とアメリカUCLA大学などでの留学経験が物を言い、的確なポイントをしっかりと裏付けされた、学術、技術、芸術作品である。使用材料の日ごろの探究や難症例の問題解決力をまざまさと見る事ができました。素晴らしいです。



左は、長内氏が持ち寄った製作過程の弘前大学病院耳鼻科の患者さんのシリコンエピテーゼ。眼球も含むこんなに大きいのは10年に一度くらい。4個目に作ったものを現在使用中だとのこと。義眼は既製品(15,000円)を利用。眼の自作を試みましたがとても難しく、どうしても偽物にしかみえなかったそうです。餅は餅屋で義眼もよく見ると、上手く出来たポーセレンクラウンのように超リアルです。全体の重量を軽くすることと、耐久性を確保することに苦労されたそうです。森下先生からアドバイスを受けられていました。



野球部便り 北東北3県対抗野球大会

秋田県横手市 グリーンスタジアムよこて 10月10日

10月10日(日)、毎年恒例となっている北東北野球大会が、秋田県横手市「グリーンスタジアムよこて」で行われました。青森市では、前日から雨が降っており、我がチームの出発時間の早朝4時半には、雨足が強まり本当に野球大会が出来るか心配されましたが、幸い盛岡インターを過ぎた頃から雨もやみ、よい野球場ということもあり少し水を含んではいましたが、抽選会・開会式が行われ、秋田県技・野球部主将 佐藤選手が力強く選手宣誓をし、戦いの火ぶたが切っておとされました。

第1試合は、青森県チーム対秋田県チーム。昨年のリベンジに燃える秋田県チームはユニホームを新調し青森戦に臨んできました。天候が心配されることから、試合開始が予定より30分早くなりました。先攻は、秋田県チームとなり青森県チーム・先発の今投手の立ち上がりを攻められ初回1点を先制されましたが、すかさずその裏の回に1点を返し、流れを引き戻したものの3回に、グラウンドがゆるい事もあり今投手が捕らえられ、野手のエラーも重なり2点を追加され。青森県チームの打線も、秋田県チームのエース菅野投手のゆるいカーブと早いストレートの前に、主戦赤田選手の3塁打・今選手のヒットと3本のヒットに抑えられ残念ながら10対1と大敗をきす結果となりました。

第2試合は、岩手県チームとの戦いとなりましたが、岩手県チームの投手3名が欠場している事もあり、青森県チームが15対3とワンサイドゲームにて勝つ事が出来ました。その試合の中でも、大ベテラン・大澤選手と和田監督の打撃は素晴らしく年齢を感じさせないプレーは、主力選手を叱咤激励している様に思えました。

第3試合は、秋田県チームと岩手県チームこちらも秋田県チームのワンサイドゲームと成ってしまい。19対1と秋田県チームが勝ち優勝。2位青森県チーム 3位岩手県チーム という結果となりました。

懇親会では、秋田県技工士会会長 今野悟さん及び、役員と3県の選手50名が参加し、ベテラン選手も若い選手も和気あいあいとなって、他県との交流の大切さを実感しました。

野球を通じての他の組織とのかかわりから、少しでも組織拡充に繋がって行けたら良いと思っております。これからも、青森県技工士会の若い会員の野球大会への参加を希望すると共に、大会に無事に参加できました事を、会長をはじめ理事の方々、会員の方々、野球部OBの方々に、選手一同に代わりまして感謝したいと思います。

誠に、ありがとうございました。

石岡 繁 青森県歯科技工士会野球部



カンパのお礼

会長、理事の方々のご理解を戴き、技工士会野球部の募金活動により、会員の皆様より一万円ほどの募金を頂く事が出来ました。まだまだ、活動資金と致しましては十分とはいえませんが、技工士会の皆様のご理解とご協力に選手一同大変、感謝しております。ありがとうございました。これからも、県技工士会野球部の活動に、皆様のご理解とご協力を頂けます様、よろしくお願い致します。

県技工士会野球部・石岡繁



野球部の皆さんご苦労様でした。青森県技代表として自腹を切ったの参加、感謝に堪えません。各県技とも予算の捻出や選手の人数で苦労されています。

ケガもなく無事で何よりでした。今後ともよろしく願いいたします。

来年は青森県が担当県です。準備などもご苦労様ですが、みなで力を合わせましょう。

秋田県技 野球大会実行委員会より結果報告がありました。(右記) ⇒



平成22年度秋歯技発第55号
平成22年10月15日

北東北3県技各位

(社)秋田県歯科技工士会
会 長 今野 悟

平成22年度 北東北野球大会結果報告について

拝啓 錦秋の候、益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

先日の北東北野球大会は大変お疲れさまでした。結果報告を送らせていただきますのでご査収願います。

敬具

記

1. 日 時 平成22年10月10日(日) 8:00~15:30
2. 場 所 グリーンスタジアムよこて
3. 参加者 青森県技 12名 岩手県技 10名 秋田県技 20名
4. 試合結果 第一試合 秋田 10 - 1 青森
第二試合 青森 14 - 3 岩手
第三試合 秋田 19 - 1 岩手
5. 個人賞 最優秀選手賞 佐々木 秀行(秋田)
敢闘賞 赤田 昌(青森)
小川 栄一(岩手)

項目	収入	支出	備考
各県技負担金	90,000		@30,000×3
雑収入	20,000		東北ブロック長より
	20,000		佐々木武様より
球場使用料		20,500	
審判謝礼		18,000	@3,000×3試合×2人
		18,000	@3,000×2試合×3人
審判弁当、お茶代		5,000	
賞品代		34,903	参加賞、個人賞
備品代		22,773	ボール、ロージン等備品代
合 計	130,000	119,176	

* 差額の 10,824円は、懇親会の超過分に充当させていただきました。ご了承願います。

平成21年度 第30回青森県歯科技工士会 通常総会 議事録

日 時 平成22年3月 7日 (日) 正午
場 所 青森県総合社会教育センター (青森市荒川
特例民法法人 青森県歯科技工士会

開 会 議長選出まで宮川副会長が司会進行を務める。
開会宣言 木村専務から総会出席受付受理の発表がなされた後に
会員数 190名・出席者及び委任状 97名・欠席 93名
合 計 97名

となり会員数の過半数に達しましたので、社団法人青森県歯科技工士会平成21年度第30回通常総会の開会宣言を声高らかにいった。

物故者に対する黙祷

(平成20年度中に亡くなられた会員はおりません)過去の御霊に30秒の黙祷を捧げた。

議長 選出 館山 龍彦 (弘前支部)
書記 選出 福田 祐嗣 (青森支部)・沖津 賢一 (上十三支部)
議事録署名人選出 平田 馨 (青森支部)・佐藤 浩一 (八戸支部)

会長 挨拶 (長内会長)

本日はここに県内各地から皆様方にお集まりいただき、第30回(社)青森県歯科技工士会総会が開かれますことに感謝と敬意を表します。県庁の監督指導の下、定款に則って3月に通常総会を開催する事になりました。過去に歴代の執行部が気がつかなかった事です。準備が遅くなり、委任状の回収にも期日が少なく、支部理事、各会員にも色々ご迷惑をお掛けしました。先日、TBS放送の報道番組で歯科技工士の海外製作物についての報道がされましたが、あまりにも反響が大きく2週にわたって放送がされました。いかに国民の関心が高いかが解りました。厚労省長妻大臣も、国会議員も動きがありました。国民の健康を守っていくのも私たち歯科技工士の仕事だと思えます。又、今年からホームページの作成も考えております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

議 事

- 第1号議案 平成22年度事業計画案承認の件
挙手で承認された。
- 第2号議案 平成22年度収支予算案承認の件
挙手で承認された。
- 第3号議案 県執行部提案議題承認の件
異議なしで承認された。
- 第4号議案 各支部提案議題審議
各支部の総会が終了後に提出のこと (4月の臨時総会にて提出)
- 第5号議案 その他 野球部活動寄付金のお願い・日技運営対策部セミナー6月6日(日)



以上の審議もって、平成21年度第30回通常総会の行程を午後3時22分に終了した。

議 長 館山 龍彦
議事録署名人 平田 馨 佐藤 浩一 以上

平成22年度 第31回青森県歯科技工士会 臨時総会 議事録

日 時 平成22年5月 22日 (土) 午後5時から
場 所 はまなす会館 (青森市問屋町1-10-10)
特例民法法人 青森県歯科技工士会

開 会 議長選出まで宮川副会長が司会進行を務める。
開会宣言 木村専務から総会出席受付受理の発表がなされた後に
会員数 190名・出席者及び委任状 116名・欠席 74名
合 計 116名

となり会員数の過半数に達しましたので、社団法人青森県歯科技工士会平成22年度第31回臨時総会の開会宣言を声高らかにいった。

先日の通常総会の議長、書記及び議事録署名人をした方々をお願いした。

議長 選出 館山 龍彦 (弘前支部)
書記 選出 福田 祐嗣 (青森支部)・沖津 賢一 (上十三支部)
議事録署名人選出 平田 馨 (青森支部)・佐藤 浩一 (八戸支部)

会長 挨拶 (長内会長)

本日はここに県内各地から皆様方にお集まりいただき、第31回(社)青森県歯科技工士会総会が開かれますことに感謝と敬意を表します。土曜日の午後にもかかわらず出席した方々には深く感謝いたします。又、準備が遅くなり、委任状の回収にも期日が少なく、支部理事、各会員にも色々ご迷惑をお掛けしました。

議 事

- | | | |
|-------|--|---------------|
| 第1号議案 | 平成21年度事業報告承認の件
挙手で承認された。 | |
| 第2号議案 | 平成21年度収支決算報告承認の件
挙手で承認された。 | |
| 第3号議案 | 平成22年度事業計画案審議 | 承認済(第30回通常総会) |
| 第4号議案 | 平成22年度収支予算案案審議 | 承認済(第30回通常総会) |
| 第5号議案 | 平成21年度共済部収支決算書
挙手で承認された。 | |
| 第6号議案 | 県執行部提案議題審議 | 承認済(第30回通常総会) |
| 第7号議案 | (各支部提案議題審議) | 各支部なし |
| 第8号議案 | その他
野球部活動寄付金のお願い・日技運営対策部セミナー6月6日(日) | |

以上の審議もって、平成22年度第31回通常総会の行程を午後5時55分に終了した。

議 長 館山 龍彦
議事録署名人 平田 馨 佐藤 浩一



質疑応答編

第6議案 執行部提案議題審議
(前回の確認)

1. 県共済の見直しについて。

1. 昨今の経済状況から会員の毎月の負担を軽減する為、毎月の徴収額1,000円を思い切って減額。また共済を将来無くす方向にする。毎年見直し、および残余金を会員に公平に活用する。福利厚生に、

厚く利用する。

2. 総会にて会員からいいアイデアを募る。

A 共済金資金があるうちは、全ての会員に共済金を支払う事。新入会員も同様に扱う。

2. 定款の一部改訂。

定款第20条 通常総会は毎年3月に開催する。と記載を3月は決算ができない為、会計年度に矛盾しないように決算報告総会と予算案総会と年2回開催することにして県に届けてあるが、通常総会開催時期の変更 案) たとえば5月に1回開催で良いか監督当局に伺ってみる。

※ 日技が総理府と相談して作成した県技用の一般法人定款には年1回で済むようになっている。

報告 5月15日の日本歯科技工士会臨時代議委員会の報告

日本歯科技工士会が新公益法人法に則り、平成23年中に一般社団法人ではなく、公益社団法人に生まれ変わること3月の代議員会では説明不足として否決されたが、今回の臨時総会で賛成多数で可決。虎ノ門総理府に申請手続きに入ることを決定した。以上

【理事会および三役会議】

臨時総会準備およびその他打ち合わせ

日 時 平成22年3月27日 14時～18時 場 所 木村壽二専務宅 五所川原市下平井町

◎5月22日開催の第31回臨時総会に向けての資料作成および発送までのスケジュール立案。

最終的には弘前支部会の役員さんにお手伝いをお願いしていただく。

4/11迄に資料印刷 190名

議案書・封筒角3号印刷(はがき在中と目立つように赤で印記)・委任はがき・その他連盟より2通

◎連盟の作業として日本歯科技工士会連盟からの西村正美ポスターを封筒詰め作業を木村連盟会長のご家族にも手伝ってもらう。

平成22年度《第1回県合同理事会》議事録

参加者 長内会長、若松・宮川副会長、木村専務、福田・石岡・小笠原(代八戸)・佐藤理事、小笠原(青森)支部長・対馬(弘前)支部長・沖津(上十三)支部長
中居・宮崎両相談役

座 長 木村専務

場 所 はまなす会館(青森市)

日 時 9月25日(土) 開始 午後4時00分、終了 午後6時30分

会長挨拶・報告

久々の単独理事会ですがお忙しいところご苦労さまです。先週9/17,18日、日技評議員会と日技代議員会に出席して参りました。評議員の木村専務が急遽出席出来なくなったため、予備評議員として出席。西村正美氏の当選報告は、最下位の16位、歯科技工士会がなければ落選していたと思われま。当県は全国で最低の名簿提出率でした。中西の時は健闘していましたが・・・。新しい会費徴収の説明と、共済の発展的解消、新公益社団法人の説明、各県技用の一般社団用の定款などの説明がありました。新定款のデジタルデータがつい先ほど日技より届きました。内容は総理府(虎ノ門)と何度も足を運んですり合わせたものなので、頼もしい限りです。これをひな形として利用出来ます。日技会費変更ですが、一般会員は減額、自営者会員は増額となり、移行の後70歳以上の会費免除は廃止されます。

また、今年は日技創立55周年事業として日技会長表彰、厚生労働大臣表彰が行われました(5年ごと開催)。それぞれ各県から1名ずつ。例年ですと、学会などの大きなイベントに併せて行うのですが、経費節約により、都内飯田橋のホテルグランドパレスにて代議員会・総会と合わせました。青森県庁より厚労大臣推薦大澤政雄氏、

県技より日技会長表彰木村壽二氏を推薦。諸条件をクリアして「決定の通知」が直前に入りました。不肖私も日技中西会長推薦厚労大臣表彰を賜りました。調べると38年、支部、県、日技の役員をしておりました。まだ他にも沢山の理事役員経験者がおりますが、気持ちを引き締めて精進して参りたいと存じます。

青森県技は一般社団法人に向かっていきます。今後とも忙しくなりますが皆様よろしくお願いたします。

各支部の公益活動を県に報告して下さい。予算は県として出来るだけ対応するので宜しく。また、県広報の記事にも協力お願いたします。

議題

○10月2日(土) 1泊の東北ブロック大会山形大会 午後1時より山形市 経費節約のためマイカーで。

参加者 長内会長・木村専務・小笠原理事

議題

公益法人について・野球大会について・ブロック会議の意義について・その他

○10月3日(日) 「歯ート・フルinAOMORI」イベント

山口歯科医師会会長よりオファーが参りました。歯科医師会館にて、歯科技工士会も参加します。

参加担当者 若松副会長・福田理事他青森支部 技工製作物・弘前支部製作パネルなど展示

○各担当 報告・討議事項

組織 日技に報告の為、各支部の活動報告を安村宛てにお願いします。

日技補助金請求のため必須。4月入会者1名に入会助成金と紹介者勧誘報償金出します。

広報 広報誌をもうしばらくお待ち下さい。(ハイスペックのパソコンを個人で購入します)。

野球 10月10・11日秋田県の横手で行います。人数が足りなくて1名の元会員に参加を呼びかけ
ていますがよろしいですか？(理事会で了承)。

学術 「初めてのエピテーゼ 設計から診断まで」

講師 森下 裕司氏 日技認定講師 愛知医科大学病院 歯科口腔外科

10月17日(日) 青森社会総合教育センター 12時から5時まで デモもあります。

今日の理事会で案内を封筒詰めお願いします。役割分担。

また、学校の生徒にも参加を呼びかけます。

○その他事項

◎弘前支部から 滞納者が、いるので退会書類を出していいか？

技工士会として3ヶ月してから督促と退会手続きを開始する。6ヶ月で除名。

◎保団連成田歯科医師より「ナノジルコニア臨床講演会」案内配布 10月3日

◎海外技工問題 中居相談役が出張参加

海外委託技工問題シンポジウム

東京飯田橋 損保会館 9月11日 保険医協会主催

【中居勝義元会長の報告】会場は満員でした。歯科技工士会でなく、保険医協会が主催して、本気で海外違法技工の輸入問題を一般人も交えて討論しておりました。弘前市開業の成田博之歯科医師が問題提起。司会 杉山正隆(歯科医師) 学者代表 鈴木邦明(北海道大学教授) 宇尾基弘(北海道大学准教授) 消費者代表 蓮尾隆子(家庭栄養研究会副会長 消費者団体連絡会運営委員) 歯科技工士代表 新井肇 質疑応答 参加者発言10名 許可を得てビデオ撮影してきました。後でDVD化して支部、理事などに配布します。機会があれば上映など役立てて下さい。

T&D東京生命から、団体加入個人保険が11月から県技会費上乘せではなく個人で支払う事になりました。今後契約者には保険会社から手続きの連絡があります。

○その他

連盟から木村理事長

西村まさみ おかげ様で当選いたしました。ありがとうございました。

以上

平成22年度《第2回県合同理事会》議事録

参加者 長内会長、宮川副会長、木村専務、福田・石岡・小笠原・佐藤理事
荒谷支部長・沖津支部長

座長 木村専務

場所 青森県総合社会教育センター（青森市）

日時 10月17日(日) 開始 午前10時30分、終了 午前11時00分

会長挨拶

朝早くから青森市荒川の会場に出掛けてこられてご苦労様です。生涯研修の準備も整いましたので、理事会を行います。報告事項のみです。

報告事項

1. 東北ブロック山形会議報告 10月1日小笠原庶務(兼野球)・木村専務・長内会長の3名で経費節約の為高速道路を相乗りで行って来ました。野球大会の今後は、5年に1回の岩手大会を機にその時点で討議します(2年後)。東北ブロック会議の存在意義も毎回議題に上がり、大日向ブロック長は新しいブロック会議規約を提案しました。代議員の数を減らしたり、経費負担が少なくなるように工夫されています。今後の課題です。発言録が担当県より来次第広報します。

2. 第93回日技代議員会、総会 9/17日日技会館にて18日ホテルグランドパレス(千代田区)にて連盟評議員会及び代議員会が開催されました。新公益法人への移行に関わるものがほとんどで、各県技が楽に申請出来るように、日技が何度も虎ノ門(総理府)に足を運び、ひな形をデジタルデータで作成しました。後日配布されました。法人移行の為の評議員会を発足させなければなりません。今後多忙になります。

3. 各賞受賞者報告 歯科技工士法施行55周年記念にあたり、青森県より大澤政雄氏が厚生労働大臣表彰、木村壽二氏が日技会長表彰、長内隆氏が日技推薦の厚生労働大臣表彰を受賞が決定した。菅直人内閣の組閣が17日夜決定した為、厚労大臣が、表彰状の記名も表彰式も細川律夫厚労大臣として間に合わず、代理出席の表彰式と、表彰状は後日郵送となった。

4. 野球部 北東北野球大会報告

10月10日秋田県横手市で行ないました。優勝は、秋田県、2位青森県、3位岩手県で、来年は、青森県が開催県になります。詳しい報告は、広報誌に載せます。

5. 庶務

各支部長さんに、お願いします。再来年に、一般社団法人になるように申請の予定です。各支部の残金、及び資産をどの様にしたいのかを、支部会員と話し合ってください。

以上

次回の理事会は、新年会と重なって後日連絡します。担当支部は、弘前支部です。1月下旬予定です。



会員管理及び会費規程表

社団法人日本歯科技工士会

【新規程】

平成23年4月1日 改正施行

入 会 金		一律	5,000円
会費	資 格 者 会 費		月額 700円
	法人会費	地 域 組 織 会 費	年額 10,000円
		個 人 事 業 所 会 費	月額 1,200円
		法 人 事 業 所 会 費	月額 2,500円
	終 身 会 員 会 費		年額 5,000円
資 格 者 会 員 学 術 振 興 費		月額 100円	

共済金年額4,800円（月額400円）は平成23年3月31日をもって全会員廃止する。

【旧規程】

平成23年3月31日 廃止

種別	男性	女性	新卒者	月額 単位/円			
				会費免除者			
入会金	20,400	10,000	10,800	終身会員	病気	出産女性	
会費	本会会費	900	500	500	0	0	0
	共済拠出金	400	400	400	400	400	400
	学術振興費	100	100	100	100	100	100
	合計	1,400	1,000	1,000	500	500	500

別途、自営者負担金年額6,000円が該当する会員のみ摘要される。

終身会員＝70歳以上で、在籍年数25年以上の会員。

病気＝3ヶ月以上療養を要する会員。

出産女性会員＝出産より2年間、育児にたずさわる会員。

新卒者＝技工士学校卒業後3年以内の方。

日技会費変更詳細

平成23年4月1日 実施

総合

資格者会費（基本会費）	年間 8,400円（700円×12ヶ月）	（旧 年間 10,800円 月額 900円）
事業所会費	年間 14,400円（1,200円×12ヶ月）	（旧 年間 6,000円 月額 500円）
資格者会員学術振興費	年間 1,200円（100円×12ヶ月）	（旧 同額・日本歯科技工学会費）
法人事業所会費	年間 30,000円（2,500円×12ヶ月）	（新規程追加）
地域組織会費	年間 10,000円	（新規程追加、各都道府県技負担）

【注】いずれも、連盟会費、各都道府県技会費、支部会等は別途加算

個別

勤務者（自営者外）

新規程	年間 9,600円	1ヶ月 800円	（資格 8,400円＋学術 1,200円）
旧規程	年間 16,800円	1ヶ月 1,400円	（本会10,800＋共済金4,800円＋学術 1,200円）
値下	年間 -7,200円	1ヶ月 -600円	

70歳以上 勤務者及び自営者外

新規程	年間 6,200円	1ヶ月 517円	（資格5,000円 学術 1,200円）
旧規程	年間 6,000円	1ヶ月 500円	（共済金4,800円 学術 1,200円）
値上げ	年間 +200円		

70歳以上 個人自営者

新規程	年間 20,600円	1ヶ月 1,717円	（資格5,000円 事業所14,400 学術 1,200円）
旧規程	年間 12,000円	1ヶ月 1,000円	（共済金4,800円 自営者 6,000 学術 1,200円）
値上げ	+8,600円		

70歳以上 法人自営者

新規程	年間 36,200円	1ヶ月 3,017円	（資格5,000円 法人30,000 学術 1,200円）
旧規程	年間 12,000円	1ヶ月 1,000円	（共済金4,800円 自営者 6,000 学術 1,200円）
値上げ	+24,200円		

個人自営者会費

新規程	年間 24,000円	1ヶ月 2,000円	（資格8,400円＋事業所14,400円＋学 1,200円）
旧規程	年間 22,800円	1ヶ月 1,900円	（本会10,800＋自営者6,000＋共4,800＋学 1,200）
値上	+1,200円		

法人自営者会費

新規程	年間 39,600円	1ヶ月 3,300円	（資格8,400円＋法人30,000円＋学 1,200円）
旧規程	年間 22,800円	1ヶ月 1,900円	（本会10,800＋自営者6,000＋共4,800＋学1,200）
値上	+16,800円		

推定 変更後の日技増収概算額（年間） 6,437万円

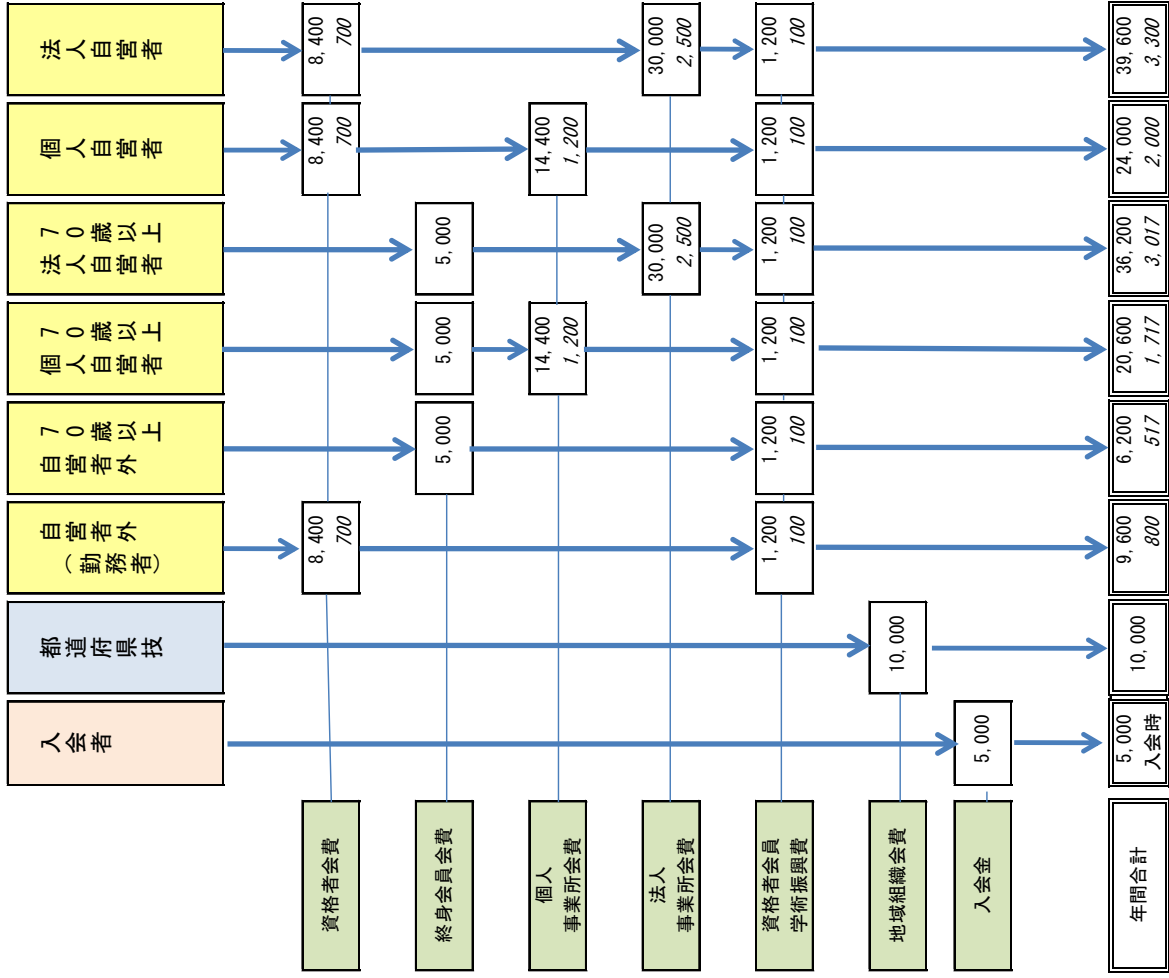
【増収】 自営者会費は6,000円から14,400円に8,400円に値上 自営会員 推定5,000人の場合	5,000×8,400＝ 4,200万円
法人自営者は6,000円から30,000円に24,000円に値上 法人会員 推定1,000人の場合	1,000×24,000＝ 2,400万円
新設の各都道府県技会費	47×10,000＝ 47万円
新卒者1,500名入会した場合	
入会金	1,500名×5,000円＝ 750万円
会費	1,500名×9,600円＝ 1,440万円

【減収】 値下げ分（資格者会費900-700） 会員1万人として
（-200円×12ヶ月＝-2,400円） -2,400×10,000人＝ -2,400万円

【差引推定増収概算額】 増収－減収（4,200+2,400+47+750+1,440）－2,400＝ 6,437万円

社団法人日本歯科技工士会 会費フローチャート

平成23年4月1日実施
ゴシック書体=年間額 斜書体=月割額

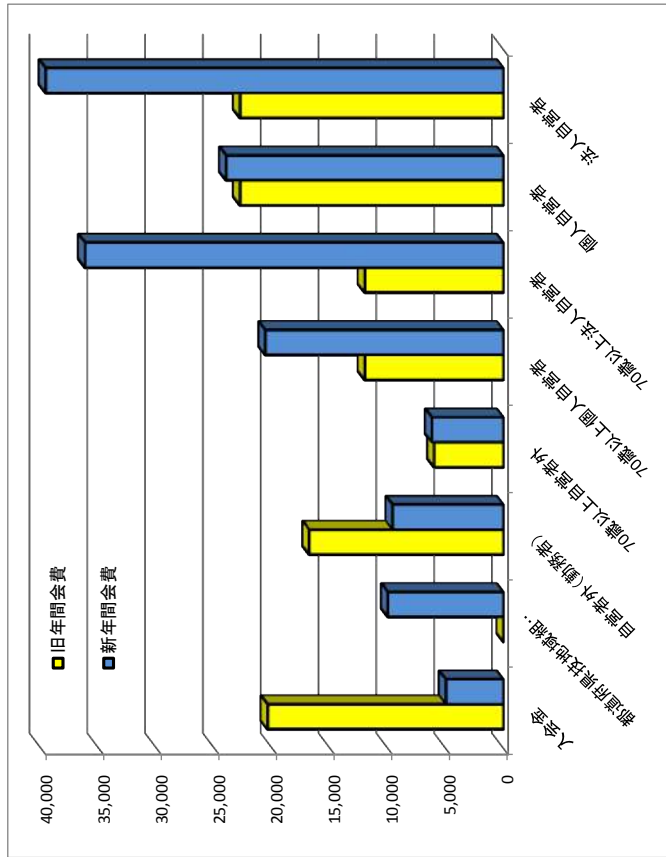


日技連盟会費、都道府県技会費、同連盟会費、支部会費、等、別途加算される。

社団法人日本歯科技工士会 会費新旧比較棒グラフ

平成23年4月1日 変更施行

	旧年間会費	新年間会費	増減
入会金	20,400	5,000	- 15,400
都道府県技地域組織会費	0	10,000	+ 10,000
自営者外 (勤務者)	16,800	9,600	- 7,200
70歳以上自営者外	6,000	6,200	+ 200
70歳以上個人自営者	12,000	20,600	+ 8,600
70歳以上法人自営者	12,000	36,200	+ 24,200
個人自営者	22,800	24,000	+ 1,200
法人自営者	22,800	39,600	+ 16,800



会員の皆様へ通知いたします。

社 日 技 発 189 号
平成22年(2010年)10月19日

都道府県歯科技工士会会長 殿

社団法人 日本歯科技工士会
総務・財務担当常務理事
庭 山 麗



第93回代議員会決定事項のご連絡 (会員の義務及び権利について)

毎々の会務ご協力誠に深謝いたします。

さて、本年9月18日に開催されました第93回代議員会におきまして、下記の通り日技本会の会費額等及び新会員慶弔制度に関する決定がなされましたので、改めてご連絡申し上げます。

貴職におかれましては、会員諸氏への周知方宜しくお願い申し上げます。

記

1 入会金・会費 (平成23年4月1日より施行)

入 会 金		一律	5,000円	
会 費	資 格 者 会 費	月 額	700円	
	法 人 会 費	個 人 事 業 所 会 費	月 額	1,200円
		法 人 事 業 所 会 費	月 額	2,500円
	終 身 会 員 会 費	年 額	5,000円	
資 格 者 会 員 学 術 振 興 費		月 額	100円	

【会費免除制度の改正について】

平成23年4月からの会費改定等に伴い各会費免除は次のとおりとなります。

区 分	現行会費免除終了年月等	申請書提出期限	摘 要
(1) 終 身 会 員	現行制度は平成23年3月をもって終了。平成23年4月から新規により実施	次年度対象者の申請 依頼文別途通知	但し、会報発送等事務相当額 (年額5,000円)を納入
(2) 病 気	平成23年3月をもって終了	平成23年6月末日	
(3) 退会・除籍者の 滞 納 会 費	平成23年3月をもって終了	平成23年6月末日	但し、平成23年3月31日までの 退会又は除籍者に限る
(4) 出 産 ・ 育 児	当該会費免除承認期間を もって終了	平成23年6月末日	但し、平成23年3月31日までに 出産した女性会員が対象

注: 既に病気による会費免除承認済みの会員については、最長平成23年3分会費までが免除対象となります。

2. 会員慶弔制度（平成23年4月1日より施行）

種 別		給付額
(1) 死亡弔慰金	① 60歳未満で入会または復籍の会員が死亡した場合	2万円
	② 60歳以上で入会または復籍の会員が死亡した場合	1万円
(2) 高度障害見舞金	① 60歳未満で入会または復籍の会員が高度障害に該当した場合	2万円
	② 60歳以上で入会または復籍の会員が高度障害に該当した場合	1万円
(3) 長寿祝金	① 60歳未満で入会または復籍した会員が80歳に達した場合	2万円
	② 60歳以上で入会または復籍の会員	不支給
(4) 出生祝金	会員本人(性差なし)の戸籍に出生児入籍の届出をした場合	1子につき2万円
(5) 火災見舞金	家屋全焼若しくは家屋全焼に準ずる場合	(対象物件) 資格者会員：主たる住居 事業所会員：主たる事業所
(6) 災害見舞金	家屋流出または全壊若しくは家屋流出または全壊に準ずる場合	
		2万円
		2万円

【長寿祝金の経過措置】

長寿祝金の給付額は、経過措置として施行初年度から4年度目までの期間は、次のとおりとする。

移行期間	対 象 者	給付額
移行初年度	平成23年度中に満80歳を迎える会員	10万円
2年度目	平成24年度中に満80歳を迎える会員	7万円
3年度目	平成25年度中に満80歳を迎える会員	5万円
4年度目	平成26年度中に満80歳を迎える会員	3万円
5年度目以降	平成27年度以降満80歳を迎える会員	【新制度】 2万円

追 伸 平成23年度分の会費額算定のため、本年12月までに、各都道府県技苑に事業所会員区分（個人事業所会員、法人事業所会員）及び終身会員対象者の調査を実施いたしますので、予めお知らせいたします。



日技 歯科技工士法制定ならびに日本歯科技工士会創立55周年記念祝賀会 開催

去る9月18日(土)、ホテルグランドパレス(東京飯田橋)に於て日技第93回代議員会ならびに標記祝賀会が開催された。午前中の代議員会で、21年度収支決算などの他、新規会費規定承認の件、新公益社団法人移行に関する諸規定が上程され、賛成多数で可決された。日技と県技とでは対応が違うが、日技特別委員会が総理府(虎ノ門)と相談して作成した県技仕様の定款の雛型を準備してデジタルファイルとして配布することとなった。

午後の記念式典に先立ち、厚生労働大臣表彰、日技会長表彰ごとに記念撮影に入り、祝賀会にご招待のご同伴の奥様方の視線の中で和気あいあいと集合写真に収まった。日技会長表彰の木村壽二氏は前夜突然上京出来なくなったが、厚労大臣表彰の青森県推薦大澤正雄氏と日技推薦長内隆氏が皆と祝杯を挙げた。前夜組閣したばかりの細川律夫厚労大臣は表彰状の筆が間に合わず、祝辞を大谷泰夫氏(厚労省医政局長)が代読した。

編集後記 ☆生まれて初めて家内の勧めもあって両国の蔵前国技館で相撲見物出来ました。1週間前にコンビニのチケットぴあで取れた席がなんと最上階の最後方から4列目。でもこんなに広くて大きな国技館ですが、裸眼でも土俵の力士の迫力は伝わってくるもので思ったよりも近く感じます。この日は白鳳関の52勝目の日でした。4万円もする栈敷席は、4人用とありますが、大人があぐらをかくとゆったりと座れません。でもお弁当やお土産やら大きな風呂敷包みが案内人の両手に抱えられて席に着くのを遠くからうらやましく見ていました。観客の半分は白人など外国人で、本気で声援を上げ、和服をびしっと決めてSAKEを呑みながら観戦したり、日本人以上に燃えていました。しみじみ世界が注目する文化があって日本という邦をまた一つ見直しました。

☆歯科技工士の将来についてこんなにも歯科医師の皆様方が真剣にお考えになっているとは、思っても見ませんでした。「国民の歯科医療は技工士なくして成り立ちません。」というのは技工士の独り合点ではないのです。国民の皆様も近ごろはご理解されて来ています。患者様に貢献していることを忘れずに抜かりのない仕事を、グッドジョブを成し遂げましょう。アズマシイ入れ歯を・・・。T.O



☆高見盛関は場内の入り口に立った時から館内のお客様がざわざわと注目の的です。津軽出身としてはうれしい限りです。故郷の青森県から上京して中央で活躍している名歯科技工士さんもたくさん居られます。